

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	淀川区
学校名	野中小学校
学校長名	打川 和美

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 46名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科については、大阪市の平均正答率より3ポイント、全国より4.7ポイント低い結果であった。項目別で見ると、「読むこと」では大阪市より3.4ポイント高く、全国より2.8ポイント高い。「情報の扱い方に関する事項」では、大阪市の平均正答率より1.4ポイント高かったが、全国平均との差は0.5ポイントあった。また、「書くこと」では、大阪市の平均正答率より1.1ポイント高かったが、全国との差が1.4ポイントあった。課題がある項目としては、「話すこと・聞くこと」で、大阪市より6.1ポイント、全国より10.6ポイント低い結果であった。「我が国の扱い方に関する事項」では、大阪市の平均正答率より9.4ポイント、全国より8.7ポイント低かった。また、「言葉の特徴や使い方やに関する事項」では、大阪市の平均正答率より4.6ポイント、全国より5.9ポイント低く、これらについては、課題があるといえる。算数科については、大阪市の平均正答率と同じであったが、全国より1.4ポイント低い結果であった。項目別で見ると、「変化と関係」では、大阪市の平均正答率より5.5ポイント、全国より4.6ポイント高い。「図形」では、大阪市より3.2ポイント高く、全国より1.5ポイント高い。反対に「データの活用」では、大阪市より4.4ポイント、全国より6.2ポイント低く、「数と計算」も大阪市より1.5、全国より2.7ポイント低く、課題が見られる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

昨年度大きく課題のあった「書くこと」については改善傾向を示しており、ブロック学力推進事業と淀川区の支援により、5・6年生で漢字検定の取り組みを行っていることも功を奏したと考えられる。今年度は、「話すこと・聞くこと」「我が国の扱い方に関する事項」「言葉の特徴や使い方や使い方に関する事項」において課題があるという結果であった。

[算数]

本校では、習熟度別学習に力を入れた指導を行っており、個別最適な学びを推進している。「変化と関係」「図形」については、成果が表れているといえるが、「データの活用」「数と計算」については、課題がある。

質問調査より

国語及び算数について「好きですか」という質問に対して肯定的に答える児童の割合が全国及び大阪市より低い結果であった。また、「解答時間は十分でしたか」という質問には、国語及び算数のどちらも「時間があつた」と解答する児童も多く、じっくりと問題を解き、見直す習慣をつけていく必要もある。授業以外の平日や土日に勉強をしている時間が短いということ、また、スマートフォンやPCなどでゲームや動画視聴をする児童が多いことも気になる点である。

本校の課題である自尊心については、「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に肯定的に回答する児童が75.5%であった。全国や大阪市の平均より少ないが、これまでに比べ大きく改善傾向を示している。「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に肯定的に回答する児童が93.4%と全国や大阪市よりも良い結果であったように、色々な機会を捉えて子どもたちの良いところを認める学校の取り組みが改善結果につながっていると考えられる。

今後の取組(アクションプラン)

○国語科については、学力の基礎となる教科であることから、総合的読解力を向上させる取り組みに力を入れ、読む解く力を持つとともに、引き続き「書く力」を向上させるために、「ブロック学力推進事業」や区の取り組みを活用し、漢字検定を実施する等、漢字の活用能力の習得を促していく。

また、算数科については、課題があった「データの活用」等をはじめ、学習内容の理解を深められるよう、習熟度別少人数学習きめ細やかな指導を行っていくとともに、グループ学習やペア学習等を活用しながら、個に応じた指導を行っていきたい。

○教員の校内研修を充実させ、主体的・対話的で深い学びの推進を図る。

- ・若手教員の研修会を充実させることで、指導力の向上を図る。
- ・各教科、単元におけるICT機器の効果的、積極的な活用を図っていく。

○児童の心を育成し、望ましい人間関係を継続して培う。

・道徳の時間を活用することで、人権学習に力を入れ、児童が自信を持って行動したり、活動したりできるように取り組む。

- ・研究教科である図画工作科を通して、互いの多様さを認め合う感性豊かな児童を育てる。
- ・各学級、学年で望ましい人間関係づくりを行い、コミュニケーション能力を養う。
- ・学校行事や、学年、学級の中で、児童の良いところを認め、自尊心を養うことのできる活動を取り入れることで、楽しい学校、学級づくりを行っていく。
- ・保護者と連携しながら、学習内容の復習をする等、家庭での学習習慣の定着を図る。
- ・地域や関係諸機関との協力体制を構築し、より良い児童の心身の育成を図る。

【 全体の概要 】

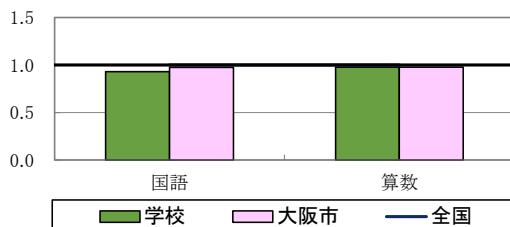
平均正答率(%)

	国語	算数
学校	63	62
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

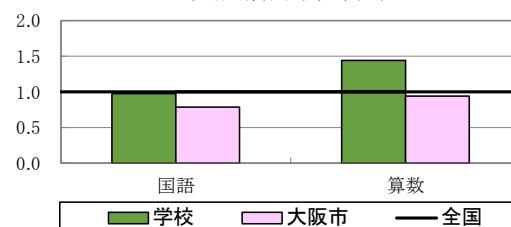
平均無解答率(%)

	国語	算数
学校	4.1	4.9
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



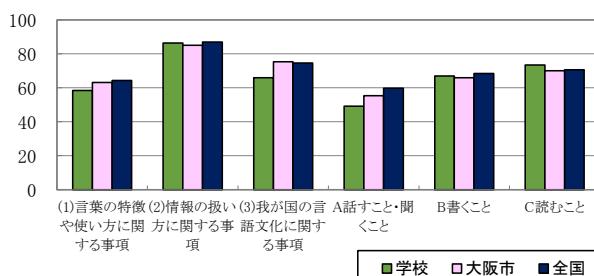
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	58.5	63.1	64.4
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	86.4	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	65.9	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	49.2	55.3	59.8
B 書くこと	2	67.0	65.9	68.4
C 読むこと	3	73.5	70.1	70.7

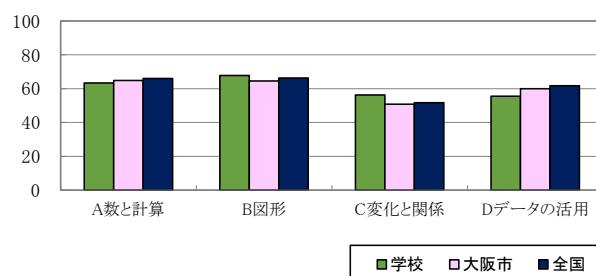
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	63.3	64.8	66.0
B 図形	4	67.8	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	56.3	50.8	51.7
D データの活用	4	55.6	60.0	61.8

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)

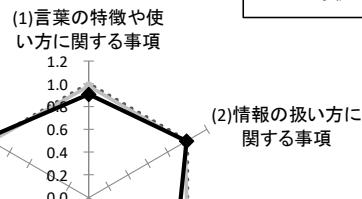


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



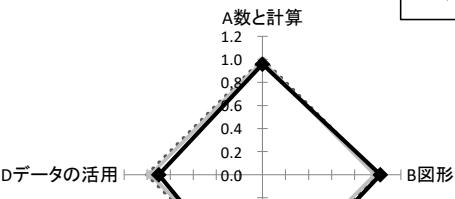
国語
内容別正答率
(対全国比)

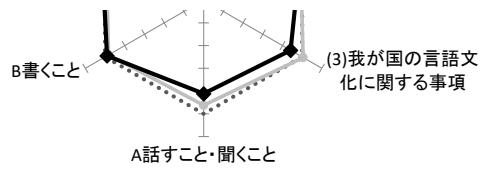
..... 全国
大阪市
学校



..... 全国
大阪市
学校

..... 全国
大阪市
学校





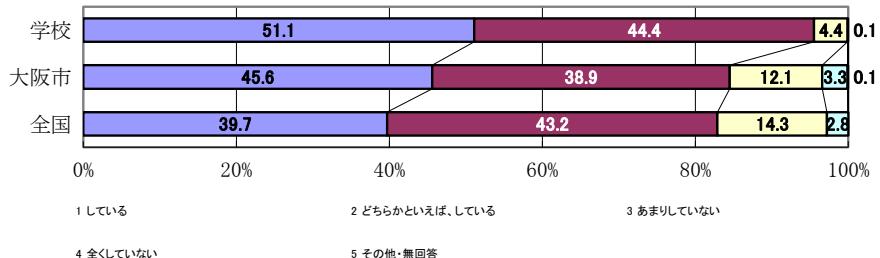
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

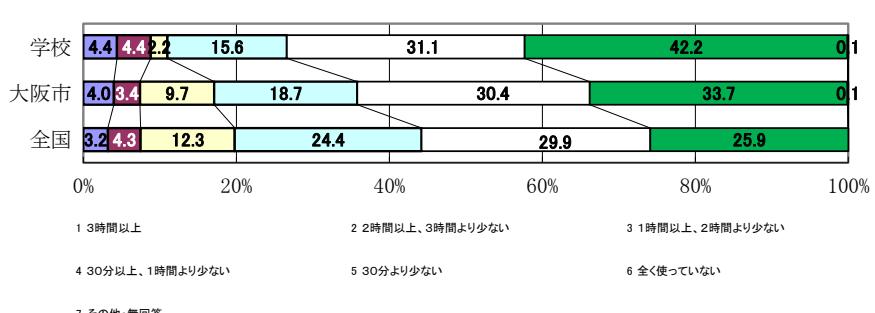
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



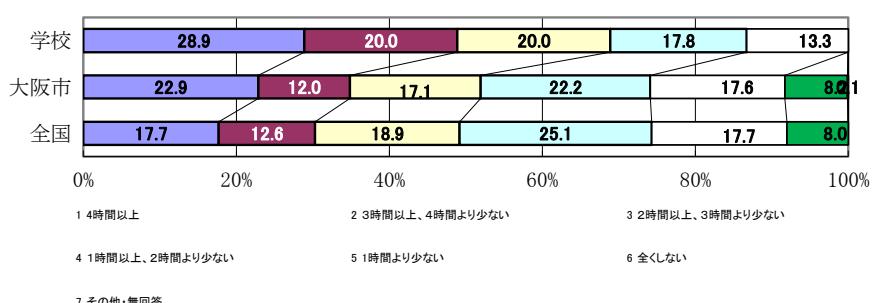
4

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



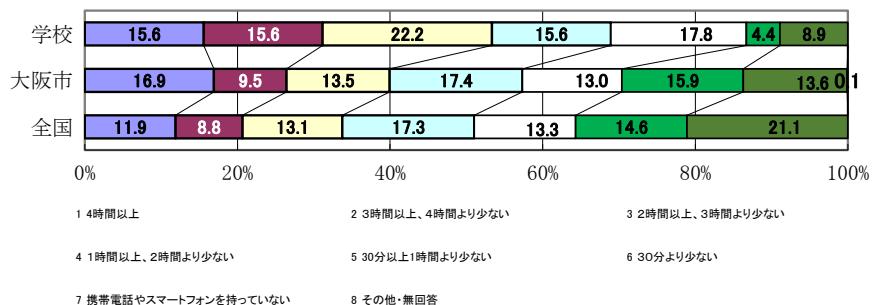
5

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



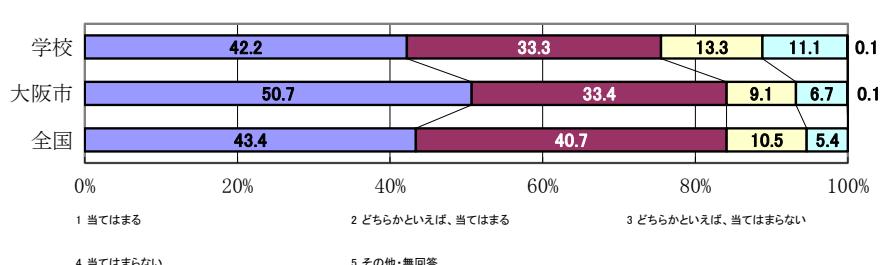
6

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



9

自分には、よいところがあると思いますか



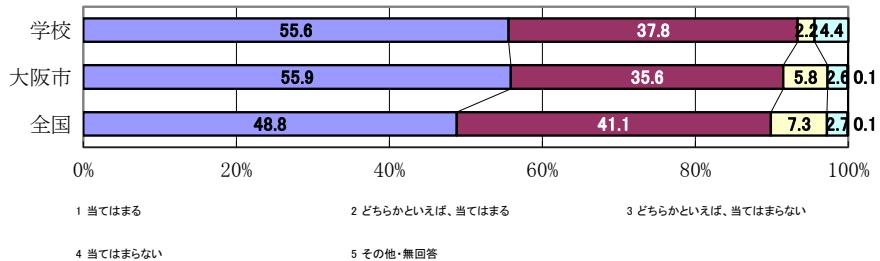
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

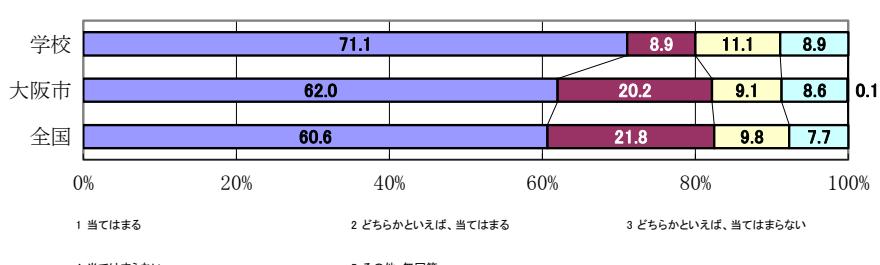
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



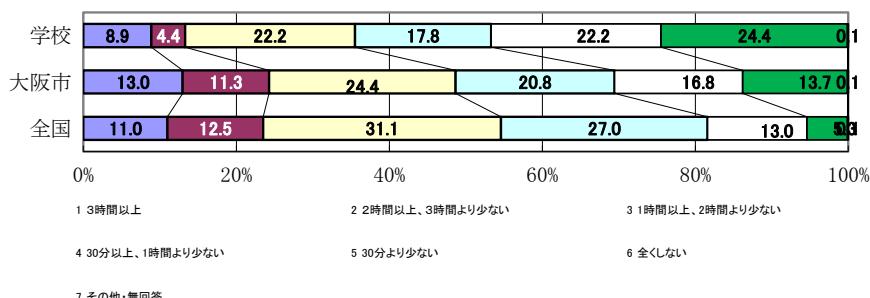
11

将来の夢や目標を持っていますか



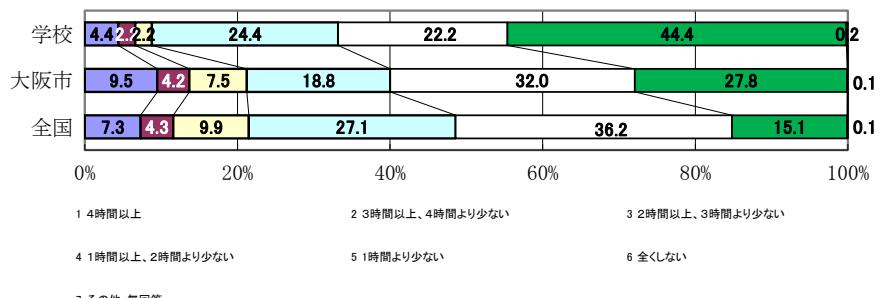
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



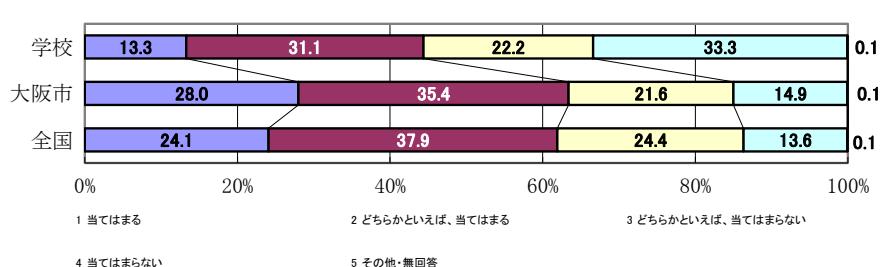
22

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



42

国語の勉強は好きですか



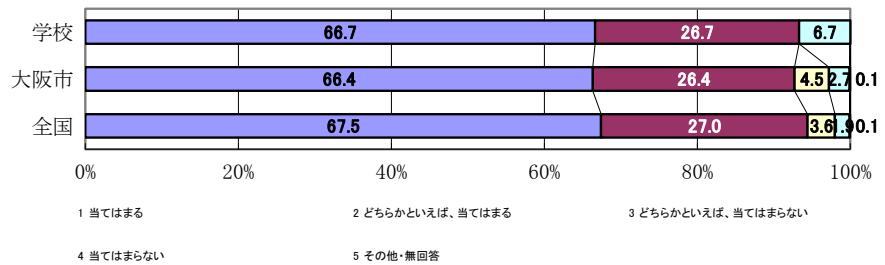
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

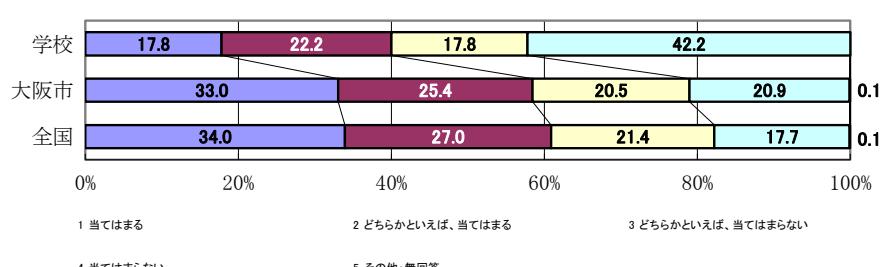
43

国語の勉強は大切だと思いますか



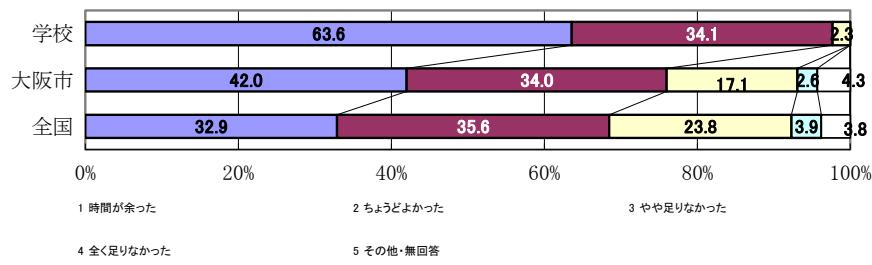
50

算数の勉強は好きですか



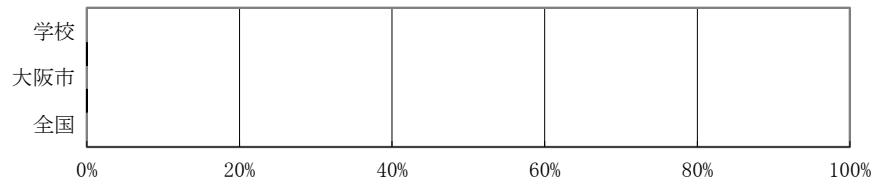
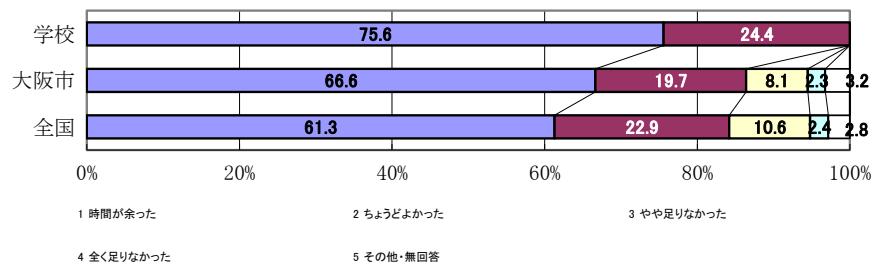
65

解答時間は十分でしたか(国語)



67

解答時間は十分でしたか(算数)



学校質問より

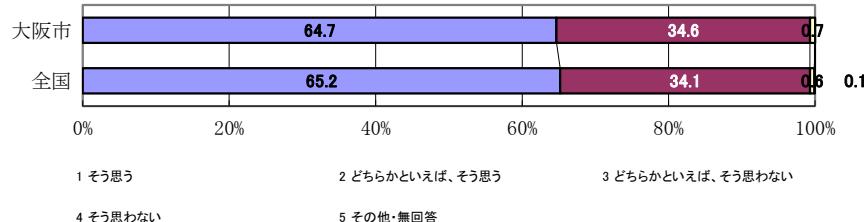
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

20

学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか

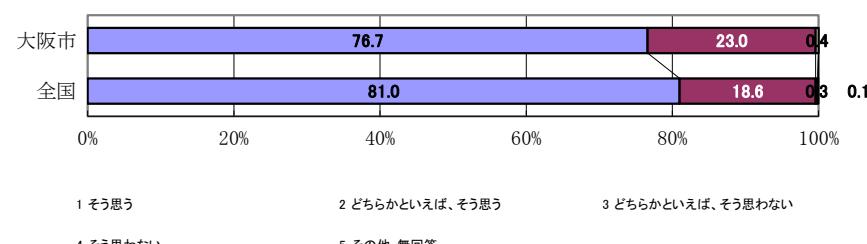
学校 「そう思う」を選択



21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

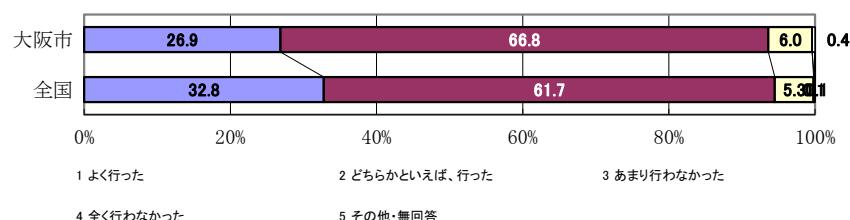
学校 「そう思う」を選択



31

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

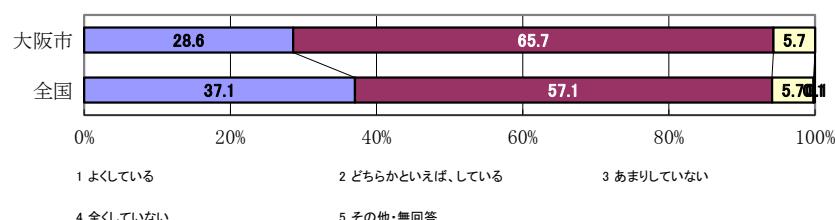
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



56

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

